



DENKEN-TEST

日本**伝**統文化**検**定  
TRADITIONAL JAPANESE CULTURE TEST



一般社団法人 日本伝統文化検定協会

## 入会のご案内

「和」を知る・「和」を楽しむ・「和」を伝える  
日本のスペシャリストになろう！

日本の伝統文化・伝統産業の理解者・支援者としての第一歩  
「伝検」は、日本の伝統を守り、未来につなげます。

日本で古くから育まれてきた伝統文化・伝統産業は今、生活様式の変化に伴う需要の減退や後継者の不足により、存続すら危ぶまれるほどの危機的な状況に置かれています。日本の伝統を守り、未来につなげていくためには、まず何よりも、その価値を多くの人々に知ってもらうことが大切です。

「伝検」は、主体的な学びを通じて日本の伝統文化・伝統産業を理解し、支え、発展させていくことを目的とした新しい検定です。

学びで得られた伝統文化・伝統産業に関する深い知識は、日々の暮らしをもより彩り豊かでサステナブルなものへと進化させてくれるはずです。





# 日本伝統文化検定

TRADITIONAL JAPANESE CULTURE TEST



日本伝統文化検定協会では、ご支援いただける個人、法人、団体の会員を随時募集しています。



## 会員の種別

### 正会員

この法人の目的に賛同して入会した法人または個人  
法人・団体・個人ともに入会金10万円、年会費12万円

### 一般会員

この法人の事業に参加することを主たる目的として入会した法人または個人  
法人・団体は入会金1万円、年会費3万円  
個人は入会金1000円、年会費1万円

### 特別会員

この法人の事業を支援するために入会した地方公共団体または地方自治関係団体  
都道府県は入会金0円、年会費12万円  
その他の地方公共団体および地方自治関係団体は入会金0円、年会費6万円

### 賛助会員

この法人の事業を支援するために入会した法人または個人  
入会金0円、1口当たり年会費は法人・団体30万円、個人10万円

- ※ 正会員は「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」上の社員で、入会には審査がございます。
- ※ 入会金および会費は、当協会が指定する口座に全額(年度途中の場合は月割り)を一括して前納していただきます。  
納入に要する費用は会員の負担とさせていただきます。
- ※ 会員には検定受験料の割引、各種情報提供、協賛団体による優待サービスなどの特典をご用意する予定です。



## 一般社団法人 日本伝統文化検定協会 設立趣意書

2023年(令和5年)12月27日法人設立登記

わが国には諸外国に類を見ない、高い独自性と普遍性を持つ多様な伝統文化と伝統産業があります。そして、美しい自然と長い歴史の中で育まれてきた技を磨き、地域のなりわいを支えるため、重要無形文化財保持者(人間国宝)をはじめとする文化の継承者や優れた職人が、全国各地に根を張って研さんを続けています。

しかしながら、わが国独自の文化や産業は、一般の人々による鑑賞や体験、使用の機会の減少に加え、安価な量産品の流通拡大や作り手・担い手の高齢化を背景に、もはや存続自体が危ぶまれているのが実情です。引退・死亡による職人の不在や収入の低迷で既に生産をやめた工芸品も少なくなく、伝統的技法の維持と後継者の育成はまさに喫緊の課題となっています。

国や自治体も長年にわたり、補助金などによる産地振興や人材確保に取り組んできましたが、残念ながら作り手・担い手への支援だけで厳しい現状を打開することは難しいと言わざるを得ません。日本の伝統文化と伝統産業を守り、育てていくには、やはり国内外の一般消費者にその価値を知ってもらい、価値に見合った対価の支払いを理解してもらうことが不可欠です。

地球温暖化、プラスチックごみによる海洋汚染など、大量生産と大量消費による弊害はますます深刻化しています。自然と対峙するのではなく、恩恵も脅威も謙虚に受け入れ、自然と共に暮らすことを基本としてきた日本の伝統を学ぶことは、今ある文化と産業の在りようを持続可能性の観点から見詰め直すことであり、極めて今日的な意味を持っています。

私どもはこうした認識の下、ここに新たな検定実施機関を設立し、日本の伝統文化と伝統産業に関する検定を通じて国内外の人々に学びの機会を提供するとともに、理解者、支援者となる合格者を増やすことで、その継承・発展を図ろうとするものです。決して容易な事業でないことはもとより覚悟の上ですが、この検定の普及が地域の活性化と対日理解の促進にもつながることを信じてやみません。各位のご賛同、ご支援を切に望む次第です。

発起人(五十音順)

株式会社時事通信社、時事通信ビジネスサポート株式会社、株式会社ジャパントイムズ、メイド・イン・ジャパン・プロジェクト株式会社

賛同者(五十音順、敬称略)

赤瀬浩成、川本恭治、隈研吾、古河久人、近衛忠大、小宮山宏、小谷野悦光、近藤宙時、齋藤知久、境克彦、白洲信哉、鈴木三月、末松弥奈子、外館和子、長門正貢、西山隆一郎、平子裕志、政近準子、三村明夫、村井嘉浩、山口仲美、養老孟司



日本の伝統文化を総合的に学び、世界を魅了する「日本の価値」を知り、日本の素晴らしさを伝え、日々の暮らしに取り入れ楽しみます。



日本の伝統文化について、歴史、カタチや技だけでなく、その内面にある存在価値を深く知り、それを通して今ある私たちの文化のあり方を見つめ直します。そこから見えてくるのは、世界における「日本の価値」。日本が失ってはいけないもの、日本のこれからを考える上で大切な視点を提示します。

世界遺産、無形文化遺産として評価され、世界から熱い注目を集めている日本文化。

日本人も意外に知らないそのルーツや、他文化との関係から違いまで、工芸・建築・食文化・芸能など、多様なジャンルにわたる日本の伝統文化を学びます。

## 伝統工芸 日本各地で継承される匠の技



### 陶磁器・硝子

陶磁器、硝子は、単なるうつわではなく、日本人の美意識や精神性を表すものとして、日々の暮らしの中に存在し続けています。日本古来の技術を継承する各地の陶磁器の歴史や特徴などを学びます。



### 金工・木漆工

仏教文化の伝来とともに技術や素材が発達し、その後、その後、貴族社会や武家社会の発展の中で発達してきた金工、木漆工では、伝統建築から美術品、暮らしの道具まで多くの工芸品が作られています。その素材の特徴や、産地、歴史、使用方法などを学びます。



### 和紙・染織

書く紙としてだけでなく、襖や照明といった建築資材、扇子、懐紙など、さまざまなものに使用されている和紙に加え、日本の民族衣装である着物文化を支える染織について、産地別の歴史や特徴、季節や暮らしに沿った使い方などを学びます。



### 建築・庭園・美術

四季折々の美しさを奏でる日本庭園や匠の技が光る伝統建築、「枯山水」に見られる禅の思想、世界の芸術家に影響を与えた浮世絵について、それぞれの歴史的背景や楽しみ方のほか、文化遺産、観光名所、美術館などについて学びます。



### 伝統色・文様

四季がある日本で、日本人は豊かな色彩の中で暮らしています。伝統的な産物や自然から生まれた色名があり、吉祥文様といった文様にも意味があります。こうした色や模様に加え、それらに込められた日本人の美しい感性を学びます。



## 学習・出題範囲は 工芸・文化の8ジャンル

古くから日本に伝わる技と美を、公式テキストで詳しく、幅広く学んでいただきます。国や都道府県が指定している伝統的工芸品等の主だったものについて概要も説明します。伝統文化に普段接することが多い方も、初めて学ぶ方も、新しい発見があるはずですよ。

## 伝統文化 四季に育まれた日本の美と粋



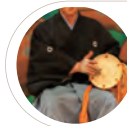
### 茶道・和菓子・日本茶

「おいしい一服のお茶を」。茶の湯は長い年月をかけて磨き抜かれ、その中で日本人の自然観や美意識などが継承されてきました。四季折々の美しい和菓子、茶道具の美に加え、千利休が説き、日本人の心に根付く「おもてなしの心」を学びます。



### 食文化・歳時記

四季があり海に囲まれた日本の独自の食文化は平安時代に始まったといわれています。正月や節句といった歳時記と、和食文化の発展・歴史、産地、しきたり、礼儀など、グローバル化時代にこそ必要な品格ある「和」の心・作法を学びます。



### 芸能

ユネスコ無形文化遺産に登録され、海外からの人気も高い日本の三大古典芸能「歌舞伎」「人形浄瑠璃文楽」「能楽」。それぞれの特徴や起源、歴史だけでなく、舞台や衣装、主要演目のあらすじや見どころを含めた鑑賞方法や楽しみ方を学びます。



## 受験について

伝検は3級・2級・1級の3クラスで構成。「さらに深く日本の伝統文化を学びたい」という学習意欲を満たすことができます。



### サポーター / Supporter

「和」を知ろう！

2024年度中に開始予定



### マスター / Master

「和」を楽しもう！

2024年秋冬に開始予定



### アンバサダー / Ambassador

「和」を伝えよう！

2025年度中に開始予定

級・称号

レベル

日本の伝統文化について、基礎知識を身に付ける初級レベル

仕事や暮らしなどに応用できる知識を身に付ける中級レベル

各ジャンルの深い知識を身に付ける上級レベル

出題範囲 公式テキストから90%以上を出題

公式テキストから70%以上を出題

詳細は準備中

試験時間と問題数 試験は60分で80問

試験は90分で100問

詳細は準備中

合格基準 70%以上正解で合格

70%以上正解で合格

詳細は準備中

試験方法 CBT試験

CBT試験

-

出題形式 択一式問題

択一式問題

択一式・記述式問題

受験資格 誰でも受験可能

誰でも受験可能

2級合格者のみ受験可能

検定料(税込) 7480円

9900円

準備中

## POINT!

- \* 団体受験  
法人や学生など団体受験可能  
団体割引あり
- \* 併願受験  
2・3級併願受験できます
- \* 受験用講座  
受験対策用講座を開催  
オンライン講座も実施予定

## 特典

- \* 検定合格者に「認定証」発行  
それぞれの級に応じた称号を付与
- \* 合格記念グッズや  
協力施設などでの特典サービス



## 役員



### 会長 近衛 忠大 Konoe Tadahiro

株式会社curioswitch代表取締役  
クリエイティブ・ディレクター  
宮内庁 式部職 宮中歌会始 講師

戦後80年近くがたち、日本の教育課程の中で、また日頃の生活の中で伝統文化を学ぶ機会は非常に少なくなっています。伝統文化が身近にあっても、それが素晴らしいものだ、美しいものだ、と思える感受性も薄れていると感じています。

理想は教育や環境を変えて、小さい頃から伝統に触れる機会を増やすことができれば良いのですが、まずは伝検も含め、出来ることから情報発信をしていきたいと考えています。

伝検には「学ぶ」という教育的な面もありますが、より気軽にゲーム感覚で楽しんでもらいながら子どもや若い世代はもちろん、幅広い世代の方が伝統文化に興味を持つきっかけです。伝統文化がいかにして生まれ、発展してきたのか、という流れを理解し、先人がかつて持っていた豊かな感受性を取り戻し、未来につなげることができれば幸いです。

#### 略歴

公家であり五摂家筆頭・近衛家の長男として生まれながら、スイスで幼少期を過ごしたトリリンガル。武蔵野美術大学卒業後、テレビ局やプロダクションにて、テレビ番組、インターネット動画制作、ファッションブランドの大型イベントなど、幅広い制作現場を経験。語学力をかわれ、古典的な出自に反して、外資系企業の日本マーケティングや、日系企業の海外向けブランディングなど、国際的なプロジェクトに数多く関わる。伝統と革新、日本と海外、といった文化の違いを乗り越え、共通のゴールを目指す仕事を重ねた結果、「世界の中の日本」を強く意識するようになり、「文化とクリエイティブで世界の橋渡しとなる」ことを目指して、curioswitch(キュリオスイッチ)を起業。

#### 兼務職

公益財団法人 陽明文庫 評議員 / 公益財団法人 十四世平六太記念財団 理事長  
観光庁 地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり検討委員会 委員  
東京都 江戸東京きらりプロジェクト 選考委員



### 副会長 外館 和子 Todate Kazuko

多摩美術大学教授  
工芸評論家、工芸史家

日本の伝統文化の現状を見ると、興味、関心のある人たちが、外国人を含め増えつつあります。そういう人たちがさらに増えれば、伝統文化がより豊かに継承されていくと思います。伝統文化を維持するためには、作り手や演者などの生み出す側だけでなく、それを受け取る側の育成、さらにその間をつなぐような紹介者、解説者の育成も大切です。伝統文化は一人で育つものではなく、それにに関わり、それを楽しむ多くの関係者、享受者がいることが必須です。

伝検は、自分がどのくらい知っているのか、理解しているのかを計る機会となり、学ぶモチベーションを上げると思います。また、伝検を「話題」のきっかけにして、伝統文化への興味、関心を高めていただくとともに、共通言語として伝統文化が語られる場が増えていくことを願っています。一般企業の方々、国や地方自治体の特に観光や教育などの関係部署に所属する人、小中高の先生方、工芸を学ぶ大学生らに、幅広く受験していただけるといいですね。日本人とは何かを知り、国際感覚を養う上でも伝検が役立つのではないかと期待しています。

#### 略歴

1964年生まれ。茨城県陶芸美術館主任学芸員等を経て、多摩美術大学教授・愛知県立芸術大学客員教授。2002年英国テート・セント・アイブス『Kosho Ito Virus』をはじめとし、国内外の美術館・大学等で展覧会監修、図録執筆、講演を行う。日展、日本伝統工芸展、韓国・国際ビエンナーレ、世界陶磁ビエンナーレなど国内外の公募展の審査員を務める。

#### 受賞歴

2014年台湾・国際キュレーションビエンナーレでベスト8に選出、表彰される  
2005年菊池美術財団論文賞(最高賞)

#### 主著

『日本近現代陶芸史』(阿部出版、2016)  
『Fired Earth, Woven Bamboo: Contemporary Japanese Ceramics and Bamboo Art』(米ボストン美術館、2013)  
『中村勝馬と東京友禅の系譜』(染織と生活社、2007)  
『現代陶芸論』(阿部出版、2023) / 『毎日新聞』『KOGEI!』を連載中。



撮影:喜多村みか

### 副会長 白洲 信哉 Shirasu Shinya

文筆家  
アートプロデューサー

日本の伝統文化を取り巻く現状は非常に厳しい状況にあります。日本社会全体の問題でもありますが、少子高齢化などにより、担い手が少なくなっていることもあり、伝統産業や伝統芸能を維持していくことが難しい状況です。

まずは、こうした現状認識を国民全体で共有することが非常に大切だと考えています。伝統文化への日本の意識の低さは、例えば、文化にかかる政府予算の規模を見ても明らかです。2020年3月の文化庁資料によると、日本の文化支出額は1167億円と、政府の総予算に占める割合はわずか0.12%。隣国の韓国は3015億円と、政府予算に占める割合では10分の1程度(韓国は1.14%)と遠く及びません。伝検をきっかけに、日本人の現状認識を変えていくきっかけにしていきたいと考えています。伝検を通じて、より多くの人に幼少期より日本の伝統文化に興味を持っていただき、さらに興味のある分野を深掘りする。伝統文化を語るができる得意分野を持っている人は、それがコミュニケーションツールになることを認識していただき、伝統文化に関わる人、理解する人を一人でも多く増やしていきたいです。(談)

#### 略歴

1965年東京生まれ。細川護熙首相の公設秘書を経て、執筆活動に入る。その一方で日本文化の普及に努め、書籍編集、デザインその他さまざまな文化イベントをプロデュースする。骨董・古美術専門誌 月刊「目の眼」編集長(2013-2018年)。父方の祖父は、白洲次郎・正子。母方の祖父は文芸評論家の小林秀雄。

#### 主著

『骨董あそび』(文藝春秋) / 『白洲次郎の青春』(幻冬社) / 『白洲家としきたり』(小学館)  
『かたじけなさに涙こぼる』(世界文化社) / 『旅する舌ごころ』(誠文堂新光社)  
『美を見極める力』(光文社新書) ほか多数。

#### 編書

『天才青山二郎の眼力』 / 『小林秀雄 美と出会う旅』(新潮社) / 『朱漆 根来』(目の眼) ほか

## 一般社団法人 日本伝統文化検定協会

(英文名称 Japan Traditional Culture Testing Association)

理事長 境 克彦 (時事通信社代表取締役社長)

【お問い合わせ】 日本伝統文化検定協会 事務局

住所: 〒104-0061 東京都中央区銀座5-1-5 8 時事通信ビル  
電話: 03-3524-6550 / E-Mail: info@denken-test.jp



日本伝統文化検定公式HP  
<https://denken-test.jp>